


沼津市 5号公園土留築造工事

他機関との工事間利用

概要

<p>(甲)</p> <p>発注者：沼津市</p> <p>工事種類：土留築造工事</p> <p>工期：R5.3.11~R6.3.11</p> <p>工事概要：擁壁工</p> <p>土質：第4種建設発生土</p>		<p>(乙)</p> <p>発注者：静岡県</p> <p>工事種類：圃場整備工事</p> <p>活用用途：基盤整地工</p> <p>土質：第4種建設発生土</p>
---	---	---

利用調整の方法

- ・(甲)の別工事で残土が多量に発生することから、有効利用できる工事が無いかを(乙)に確認。黒ボク土であれば有効利用できる箇所があるとの連絡あり。
- ・(甲)の工事での発生土仮置場(上部に別工事での発生土盛土予定箇所)の下に黒ボク土が堆積していることから、(乙)に連絡。
- ・現地にて土質を確認してもらい、条件が合致したため搬出時期を調整

費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費		
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・(甲)の工事で黒ボク土を搬出・工事間利用することにより、(甲)の別工事で盛土できる量が増え、残土処分費が一部不要となったことから、約2,500万円のコストダウンにつながった。

位置



写真



活用用途 (基盤整地) (甲) 土留築造工事

有効利用量：約4,000m³



(乙) 圃場整備工事

沼津市 駒瀬川雨水貯留池流木対策施設設置工事

低質土の有効活用

概要

(現場内有効活用)
発注者：沼津市
工事種類：河川工事
工期：R5.9.8～R6.3.26
工事概要：鋼製流木止工
土質：第4種建設発生土



土質改良

設置場所：発生現場内（自走式改良機の活用）
改良の種類：安定処理（構造物基礎）
改良材：セメント系固化材（高有機質土用）

有効利用のについて

●経緯

構造物設置地盤の支持力を確認したところ、支持力が不足していることが確認されたため、目標支持力確保の検討を実施した。

●検討結果

良質土での置換工法と現地発生土を利用したの地盤改良工で比較検討し、経済性で優位となる地盤改良工を採用した結果、第4種建設発生土の活用を実施。

●土壌調査

六価クロム溶出試験を実施し、試験結果が基準値以下であったため、セメント系固化材（高有機質土用）の使用が可能であった。

ポイント

有効利用に関する経済性比較：

置換工法（土砂運搬処分+良質土購入）	約3,295千円
地盤改良工法（セメント系固化材）	約659千円…採用
差額	約2,636千円【直接工事費】

写真



発生量：
約230m³

有効利用量：
約140m³

活用途
構造物基礎

沼津市 航路浚渫工事

有効利用

概要

発注者：沼津市
 工事種類：浚渫工
 工期：R4. 10. 31～R5. 3. 29
 工事概要：浚渫工V=340m³
 土質：浚渫土



利用調整の方法

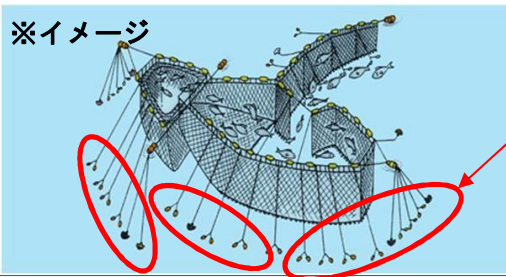
- ・浚渫する際、最もコストを要するものが「処分費」であり、特に浚渫土は他発生土と比べ、処分費が高価なため、浚渫工事の課題となっている。
- ・浚渫エリア近郊で定置網を営む漁業者から、浚渫土を定置網を固定する錘（おもり）として利用したい旨の申し出があったため、浚渫土の有効活用と経済性の観点から、浚渫土を利用転換した。

費用負担

費用負担	発生工事	利用者
発生工事現場での浚渫土の積み込み費	●	
発生工事現場から利用現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費	●	
利用現場での袋詰め費		●

ポイント

- ・浚渫土総量340m³のうち、180m³を転用してことで、約3,000,000円のコスト削減を図った。



※イメージ

位置



写真

浚渫土：約340m³



有効利用量：約180m³



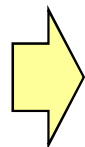
活用用途
 (定置網を固定するための錘)

沼津市 新貨物ターミナル2号調整池築造工事

他機関との工事間利用

概要

(甲)
発注者：沼津市
工事種類：調整池築造
工期：R5. 8. 25～R6. 2. 29
工事概要：沈砂池築造工、ジボキストル護岸工、排水構造物工
土質：第一種建設発生土



(乙)
発注者：静岡県東部農林事務所
工事種類：圃場整備
活用用途：土工
土質：第一種建設発生土

利用調整の方法

- ・造成工事のため多量の土砂が必要となった(乙)が近隣自治体へ照会。建設発生土の搬出先に困窮していた(甲)と条件が合致

費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費	●	●
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・工事間利用により処分費が不要となったことから940万円のコストダウンにつながった。

位置



写真



発生量：
約2,430m³

(甲) 調整池築造工事



有効利用量：
約2,430m³

(乙) 圃場整備工事

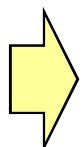
活用用途
圃場整備

静岡県富士市 5街区造成ほか工事

他機関との工事間利用

概要

(甲)
発注者：富士市
工事種類：宅地造成
工期：R5. 6. 23～R5. 12. 14
工事概要：造成土工 A=16,342m²
土質：玉石



(乙)
発注者：富士市
工事種類：公園整備
活用用途：練石積工
土質：玉石

利用調整の方法

- ・ (甲) が、「市内OA物品取引掲示板」に玉石提供情報を登録しており、(乙) と搬入搬出時期が合致

費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積み込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費	-	-
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・ 工事間利用により処分費が不要となったことからコストダウンにつながった。

位置




写真



富士市 舗装改良工事

他工事との工事間利用

概要

<p>(甲)</p> <p>発注者：富士市</p> <p>工事種類：舗装工</p> <p>工期：R4.12.5～R5.5.19</p> <p>工事概要：舗装工A=3240m²</p> <p>土質：第1種建設発生土</p>		<p>(乙)</p> <p>発注者：富士市</p> <p>工事種類：舗装工</p> <p>活用用途：路盤工</p> <p>土質：第1種建設発生土</p>
---	---	--

利用調整の方法

利用調整方法を記載

- ・(甲)が、良質な路盤材が多量に発生することから残土処分量及び処分費の軽減を図るため、富士市関係課内で発生予定土量等の情報共有を行ったところ、舗装工事の路盤材を大量に必要としていた(乙)と土質条件、発生時期等の条件が合致

費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費	●	
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

本事例で特徴的な点を記載

- ・工事間利用により残土処分が不要となったことから約10万円のコストダウンと残土処分量V=90m³の削減に繋がった。

位置

(乙) 令和4年度 富士岡中里線舗装改良工事



(甲) 五味島岩本線(四ツ家東工区)舗装工事

写真



発生量：約550m³

(甲) 舗装工事

活用用途
(路盤)



有効利用量：約90m³

(乙) 舗装工事

藤枝市 天王町仮宿線地盤改良工事

低質土の有効利用

概要

発注者：藤枝市
工事種類：地盤改良工事
工期：R5.6.30～R6.1.31
工事概要：置換工、中層混合処理工
土質：第3種改良土
改良土活用の区分：発注者からの指示
活用用途：路床盛土
改良土利用量：460 m³

土質改良

改良の種類：安定処理(パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式))
改良材：セメント系固化材

改良土利用の経緯

パワーブレンダー工法協会の技術資料に基づき、地盤改良で発生した盛上り土について土質試験をした結果、地盤改良と同等の品質が得られたことから、路床部の置換土として利用した。

ポイント

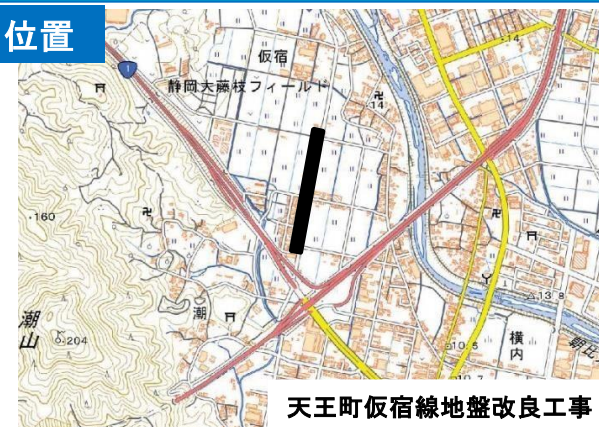
○有効利用により建設汚泥処分量の削減

$$V=460\text{m}^3 \rightarrow V=0\text{m}^3$$

○有効利用によりコスト低減(直接工事費)

すべて購入土の場合	C=60,200 千円
購入土+盛上り土の場合	C=58,900 千円
差額	C= 1,300 千円

位置



天王町仮宿線地盤改良工事

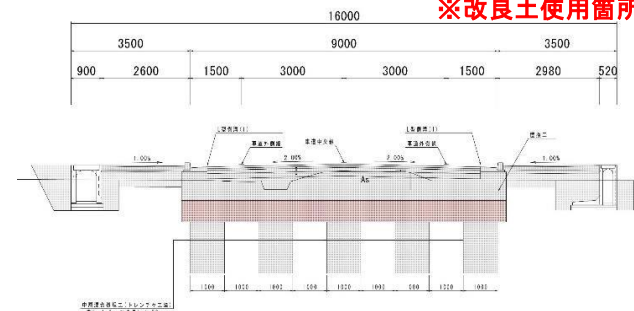
写真

改良土使用状況



改良土使用状況 (断面図)


※改良土使用箇所



川根本町 普通河川足間沢河川災害復旧工事

他機関との工事間利用

概要

<p>(甲)</p> <p>発注者：川根本町</p> <p>工事種類：土木工事</p> <p>工期：R5.5.22～R5.8.31</p> <p>工事概要：掘削工</p> <p>土質：第1種建設発生土</p>		<p>(乙)</p> <p>発注者：静岡県</p> <p>工事種類：土木工事</p> <p>活用用途：整地工</p> <p>土質：第1種建設発生土</p>
--	---	---

利用調整の方法

- ・(甲)が、当初設計していた処分場が受け入れを中止したことにより、建設発生土の搬出先に困窮していたところ、施設整備のため多量の土砂を必要としていた(乙)と条件が合致したため。

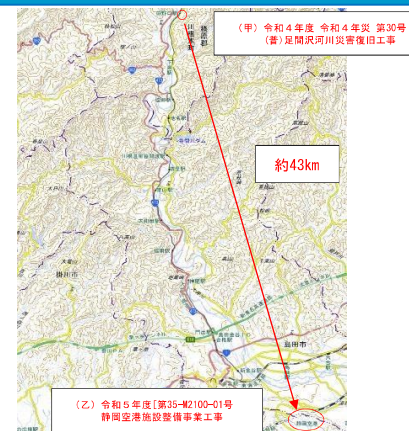
費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費	●	
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・工事間利用により搬出先までの運搬距離は延びたが、処分費が不要となったことから約125万円のコストダウンにつながった。

位置



写真



活用用途
盛土材



川根本町 普通河川足間沢河川災害復旧工事

他機関との工事間利用

概要

(甲)
発注者：川根本町
工事種類：土木工事
工期：R5. 5. 22～R5. 8. 31
工事概要：掘削工
土質：第1種建設発生土



(乙)
発注者：静岡県
工事種類：土木工事
活用用途：埋戻し
土質：第1種建設発生土

利用調整の方法

- ・台風15号災害により被災した(普)足間沢の二次被害防止対策で、他工事のストックヤードに仮置きした5,000m³の建設発生土について、当初計画していた処分場の受け入れ中止に伴い、処分先に困窮していたところ、災害復旧工事で多量の土砂を必要としていた(乙)と条件が合致したため。

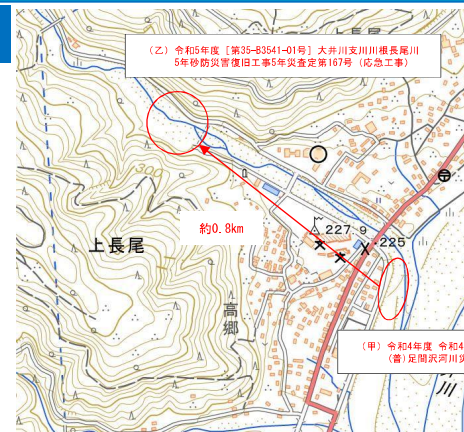
費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積み込み費		●
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費		●
建設発生土の土質調査費		
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・工事間利用により仮置場からの積み込み、運搬、処分費が不要となったことから約2,300万円のコストダウンにつながった。

位置



写真



(甲) 令和4年度 令和4年災 第30号 (普)足間沢河川災害復旧工事

活用用途
埋戻し

有効利用量：約5,000m³

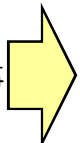


(乙) 令和5年度 [第35-B3541-01号] 大井川支川川根長尾川5年砂防災害復旧工事5年災害査定第167号 (応急工事)

静岡県 急傾斜地崩壊対策工事

他機関との工事間利用

概要

<p>(甲) 発注者：静岡県 工事種類：浚渫土分級脱水工事 工事概要：浚渫土分級脱水土処理工事 土質：第2種建設発生土</p>		<p>(乙) 発注者：静岡県 工事種類：急傾斜地崩壊対策工 活用用途：補強土壁工 土質：第2種建設発生土</p>
---	---	--

利用調整の方法

- 急傾斜地対策工事における補強土壁工のため土砂が必要となった。
(乙)が建設発生土を搬出する工事があるか調査。建設発生土の搬出先に困窮していた(甲)と条件が合致。(甲)による土質試験結果より堤体として使用可能であることを確認。

費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費	●	
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- 工事間利用により堤体用購入土砂が不要となったことから約150万円のコストダウンにつながった。

位置



写真



(甲) 維持浚渫工事



(乙) 急傾斜地崩壊対策工事

静岡県 橋梁下部工事

他機関との工事間利用

概要

(甲)
 発注者：静岡県
 工事種類：河川災害工事
 工期：R4.4.8～R5.3.10
 工事概要：護岸工
 土質：第1種建設発生土



(乙)
 発注者：静岡県
 工事種類：橋梁下部工
 活用用途：路体盛土工
 土質：第1種建設発生土

利用調整の方法

- ・(甲) 工事で仮設道路として使用した購入土について、処分場から受入れを拒否され、かつ再利用が可能な状態であったため、ストックヤードに運搬
- ・その後、(乙) 工事受注者より、使用したいと連絡を受け活用。

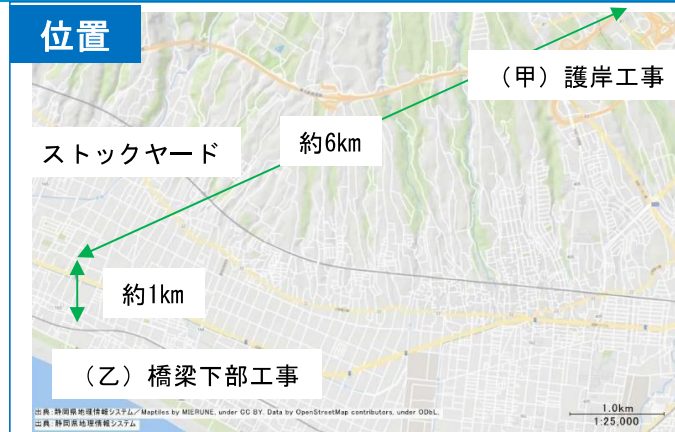
費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	●
建設発生土の土質調査費		
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ストックヤードを使うことで、期間が空いている工事間でも流用が可能となった。
- ① 処分費 $2,400\text{円}/\text{m}^3 \times 720\text{m}^3 = 1,728,000\text{円}$ の減額 (直工)
 - ② 土砂購入費 $2,600\text{円}/\text{m}^3 \times 720\text{m}^3 = 1,872,000\text{円}$ の減額 (直工)

位置



写真



写真なし
 (現在施工中)

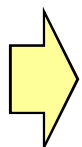
(乙) 橋梁下部工事

静岡県 高潮対策事業(堤防嵩上工)

他機関との工事間利用

概要

(甲)
 発注者：静岡県
 工事種類：河川工事
 工期：R5.10.11～R6.3.22
 工事概要：護岸工
 土質：第2種建設発生土



(乙)
 発注者：静岡県
 工事種類：海岸工事
 活用用途：覆土工
 土質：第2種建設発生土

利用調整の方法

- ・(甲)が、「建設発生土情報交換システム」に発生予定土量を登録しており、(乙)と土質条件、発生時期等の条件が合致

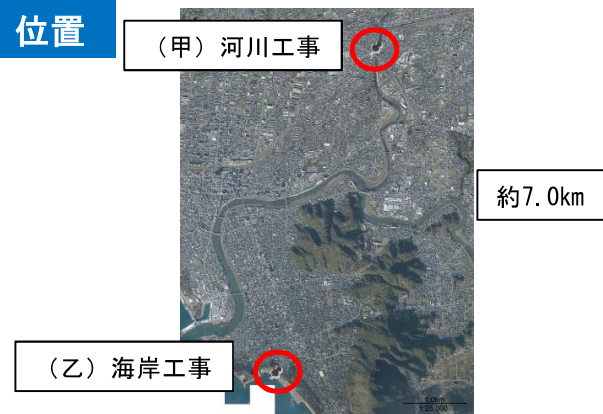
費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
建設発生土の土質調査費		●
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・工事間利用により処分費が不要となったことから約500万円のコストダウンにつながった。

位置



写真



(甲) 河川工事

活用用途
覆土工




(乙) 海岸工事

静岡県 転石除去工事

他機関との工事間利用

概要

<p>(甲)</p> <p>発注者：静岡県</p> <p>工事種類：側溝改修工事</p> <p>工期：R5.9.15～R6.1.31</p> <p>工事概要：側溝工</p> <p>土質：第1種建設発生土</p>		<p>(乙)</p> <p>発注者：静岡県</p> <p>工事種類：転石除去工</p> <p>活用用途：工事用道路</p> <p>土質：第1種建設発生土</p>
---	---	--

利用調整の方法

- ・ 工事期間が一致していないため、ストックヤードモデル事業の利用。

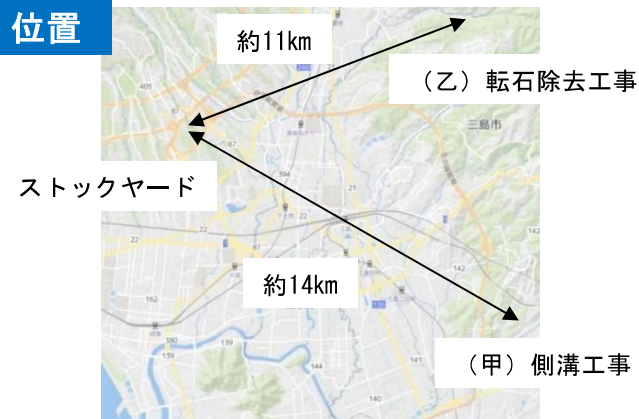
費用負担

費用負担	発生工事	利用工事
発生工事現場での土砂の積込み費	●	
発生工事現場から利用工事現場までの運搬費	●	
仮置き場から利用工事現場までの積込運搬費	●	
利用工事現場での土砂の整形費、敷均し費		●

ポイント

- ・ 工事間利用により処分費が不要となったことから約100万円のコストダウンにつながった。

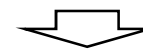
位置



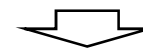
写真



(甲) 側溝工事



ストックヤードモデル事業利用



活用用途
工事用道路

有効利用量：約90m³

写真なし

(乙) 転石除去工事